

やさしい社会を明石から

徹底解説

明石が選ばれる理由



人口
9年連続増

30万人突破

人口、**過去最多**
更新中



人口

人口増加率
中核市

第1位



安心

市民サービスの
向上へ

施策



さらに勢いを増す
明石の好循環！

にぎわい

地価

7年連続上昇



税収増

財源

p22で解説！

全国戻りたい街
ランキング2021

第1位

これが**明石の好循環**

総論	● 明石の好循環	…01-03
各論	● こども	…04-09
	● 高齢者・障害者	…10-13
	● 犯罪被害者・更生支援	…14-15
	● 旧優生保護法被害者支援	…16

目次

● LGBTQ+ / SOGIE	…17
● 豊かで安全な海を	…18-19
● 本のまち・感染症対策	…20-21
コラム ● やさしい社会を明石から	…22-23
● あかし SDGs 推進計画 (第6次長期総合計画)	…24

明石の好循環

子育て

高齢者

障害者

犯罪被害者

優生保護

豊かで安全な海

本のまち

明石の好循環

子育て

高齢者

障害者

更生支援

LGBTQ+/SOGIE

豊かで安全な海

感染症対策

進む!“市民ニーズ” に対応たまちづくり

数字で見る「明石の今」



明石のまちが
ランキング上位に!

NO.1
全国戻りたい街
ランキング第1位
※2021年10月発表。(株)ウェイブダッシュ調査

NO.1
人口増加率
中核市第1位
※国勢調査2020年と2015年を比較した
人口増加率のランキング

5年間で
10,429人
増加

年々
上昇中!
住みたい自治体
ランキング県内**3位**
※2021年6月発表。大東建設調査

【住みたい自治体ランキング】

1位	西宮市
2位	神戸市中央区
3位	明石市
4位	芦屋市
5位	神戸市灘区

子育て世代に
選ばれています



結婚を機に、最近明石へ
引っ越してきました。
安心して子育てが
できています!



市外に住んで
改めて明石の
良さを実感

生活満足度
関西**1位**、
全国**2位**
地域ブランド調査 2020
(ブランド総合研究所) から

住みやすいと
感じる人が
9割に
明石市
市民意識調査 2019 から

市民
満足度
上昇中

安心

施策

人口

にぎわい

財源

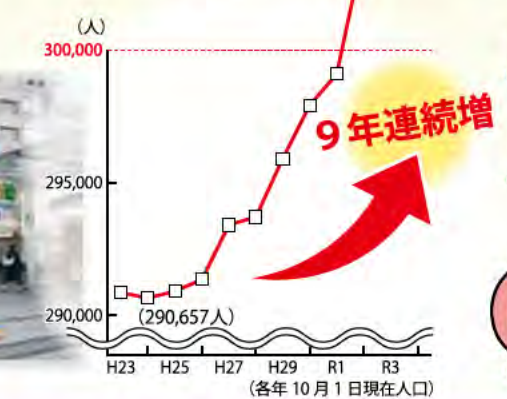
やりくりが大切!



過去最高人口
更新中!

人口**9年連続増**
30万人突破へ!

子育て施策の充実が、子育て世代
の増加につながり、明石市の人口は
9年連続で増加しています。



やさしいまちづくりが広がることで、
市民の安心感が増し、
人口が増え、にぎわいが増し、
税金が増え、さらに新たな
市民サービスができる
これが、明石の好循環です。 p22で解説



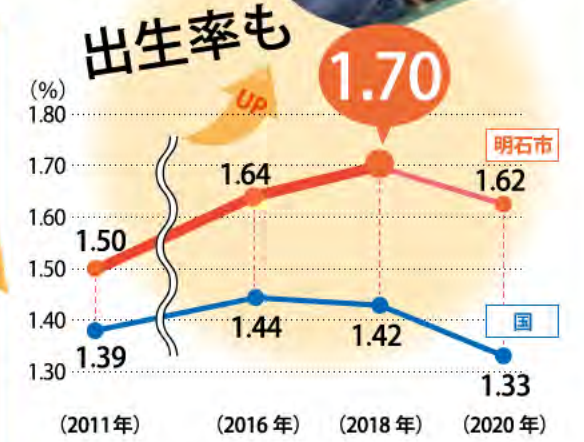
まちで赤ちゃんを
よく見かけるわ



明石駅南側
新規出店年間**29**店舗
※2015~2020年度平均。新規開店・入替・改装

商業地**7年連続上昇**
※2014~2020年

住宅地**5年連続上昇**
※2018~2022年



8年で**32億円増**
税金が増加!
※2012年度と2020年度の税金(決算額)の比較



決して裕福な市ではありません。

明石市の一般会計の歳入は、中核市 62 市中、
54 位と、他市に比べて多いわけではありません。
この10年間で、土木費を半減、民生・衛生費を
3割増やし、予算を徐々にシフトさせてきました。

発想の
転換

使い道を大胆に変更!

税金増加+予算のシフトで財源確保へ

税金 増えています!

主要税収入*が8年で
32億円増

(※個人市民税、固定資産税、都市計画税の合計額/2020年度)

貯金 増えています!

基金残高が
112億円に
70億円

(※財政基金、減債基金、特別会計等財政健全化基金の合計額)

借金 減っています!

実質公債費比率 **3.4%**
(2020年度実績)

自由に使えるお金のうち
借金の返済に使うお金の
割合が小さい



こどもを核としたまちづくり

すべての子どもたちを
まちのみんなで支える

p04-05で
解説

全国トップクラスの
安心感
所得制限なし
**明石独自の
5つの無料化**

- ① こども医療費
- ② 保育料
- ③ おむつ(宅配も)
- ④ 中学校給食
- ⑤ 遊び場



すべての人に“やさしい”まちづくり

2022年インクルーシブ条例スタート
(p13)

全国初
手話言語・障害者コミュニケーション条例 (p12)

全国初
合理的配慮の提供を支援する公的助成制度 (p13)

全国初
みんなで認知症あんしんプロジェクト (p10-11)

全国初
養育費も面会交流も
子どもの権利 (p06)

全国初
犯罪被害者等支援 (p14)

全国初
旧優生保護法被害者支援 (p16)

こどもを核としたまちづくり

明石の好循環

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

優生保護

豊かで安全な海

本のまち

明石の好循環

こども

高齢者

障害者

更生支援

LGBTQ+/SOGIE

豊かで安全な海

感染症対策

人口が増え、出生率が上昇、
まちの元気や活力に
**明石独自の
5つの
無料化**

「子どものため」、だから所得制限なし

親の所得に関わらず、すべての子どもたちにサービスを届けるため、5つの無料化はすべて所得制限はありません。

現金ではなく、サービスで提供

無料化の特徴は、現金を配るのではなく、サービスを提供すること。しっかり子どもに支援を届けていくために、今すでに発生している「サービス」を無料にしています。

全国トップレベルの安心感

2013年から徐々にサービスを拡充してきました

1 高校3年生まで / こども医療費の無料化
所得制限なし

2013年～ 中学3年生まで 完全無料

2021年～ 高校3年生まで 完全無料

2 第2子以降の保育料の完全無料化
所得制限なし

2016年～ 第2子以降 完全無料

2019年～ 副食費も 完全無料

経済的負担が軽減し、安心して子育てができます

薬代も無料

市外の病院も無料

子育て施設が充実していて
ママ友がたくさんできました！

安心して子育てができます。
明石に引っ越してきてよかったです！

兄弟の年齢、関係なし

市外の施設でもOK

2022年から無料化拡大 持ち帰らなくてOK！

使用済み紙おむつは園で処分します

市内の保育施設では、使用済み紙おむつを無料で処分しています。保護者の負担も減り、衛生面でも安心です。

×子育ての責任は親に 発想の転換

明石市は、
すべてのこどもたちをまちのみんなで支えます

すべての子どもたちを

誰一人として取り残さない

まちのみんなで

行政や地域や市民みんなで

本気で応援

あれもこれも全部やる

parent

大切なのは未来施策！

まちのみんなが幸せに

地域経済の好循環が生まれ、新たなサービスが可能に。

3 おむつ定期便 0歳児の見守り おむつを無料でお届け
所得制限なし 県内初

2020年スタート

子育て経験のある見守り支援員（配達員）が、0歳児の赤ちゃんがいる家庭に紙おむつなどを直接お届け。経済的負担の軽減に加え、毎月家庭を訪問することで必要な支援につなげます。



選べる赤ちゃん用品

紙おむつのほか、おしりふきやミルクなどから選んだ品物を毎月お届けします。

選べます / 3000円相当の子育て用品 × 計10回 / 3か月～1歳の毎月

見守りで不安解消

研修を受けた見守り支援員が、子どもと保護者に直接会います。

これまで8千件を超える相談がありました

99%が満足と回答

利用者の声

コロナ禍で話す人がいなくなったので、月に一度でも話を聞いてもらえてうれしかった。

市に子育てを支援してもらっているという安心感があり、何かあったとき市の窓口に相談しようと思う。

2020年度利用者アンケートより

4 中学校給食が無償に
所得制限なし 中核市以上で全国初



教育費が膨らむ中学生のいる家庭の負担の軽減は、子どもの健やかな成長を支えます。

2016年～ 中学校給食の実施

2020年～ 中学校給食の無償化

心のこもったあたたかい給食

5 公共施設の入場料を無料に
所得制限なし

主な公共施設の入場料を無料に。思いっきり体を動かしたり、星空を眺めたり、お金や天気も気にせず遊べます。



- *天文科学館
- *文化博物館
- *明石海浜プール
- *親子交流スペース「ハレハレ」



**妊娠・子育て
まるごと寄り添い支援**

支援が必要な子どもを早期に見出し、必要な支援につなげるため、妊娠期から小学生までのステージでさまざまな気づき・寄り添いの機会を設けています。

面談 → 気づき → 支援

妊娠 出産 乳幼児 小学生

妊婦全員と面談
タクシー券
5000円分プレゼント

産後ケア
宿泊型、デイサービス型、訪問型で心と体をケア。訪問型は初回無料

子育てスタート応援事業
家事・育児ヘルパーサービスの2時間無料利用券

子育て訪問相談
支援が必要な場合には看護師や保育士などが家庭を訪問

切れ目のない支援が重要

出産・育児のサポート

すべての妊婦と赤ちゃんに会います

あかし里親100%プロジェクト

病気や育児疲れの時、短期で子どもを預かるショートステイ里親

新生児の家庭訪問
生後3か月までにすべての子どもの家庭を訪問

ブックスタート
4か月児健診時、絵本をプレゼント

ブックセカンド
3歳6か月児健診時、絵本をプレゼント

こども食堂
子どもたちの身近な場所で開設

気になることがあれば市と情報共有



子どもの見守り

ぼくたち生まれる前から見守られているんだね

×子どもは親の持ち物 発想の転換 → 子どもの権利を守るのは社会の責任

ひとり親家庭を支えます

養育費を子どものもとに確実に届けるために

養育費も面会交流も子どもの権利

親の離婚・別居などによって子どもが不利益を被らないよう、子どもに寄り添ったさまざまな支援を行っています。

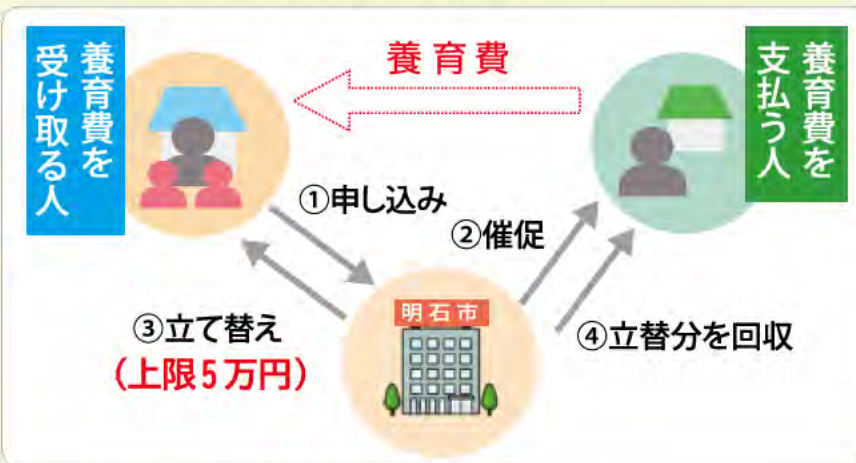
国の調査によると、養育費の支払いを「現在も受けている」母子家庭は、全体の約24%で、多くの家庭が継続して養育費を受け取れていません。

1 立替え支援

全国初

市では、子どもの成長に欠かせない養育費をきちんと子どものもとに届けられるよう、支援を進めています。

不払いになった養育費を直接市が催促し、不払いが続く場合に市が立て替える事業を行っています。



取り決めた養育費の支払いが滞ったとき
市が催促・立替え・回収

2020年7月 養育費1か月分(上限月5万円)
～2021年3月

2022年8月～ 養育費3か月分

拡充!

国でも会議がはじまる

2020年 養育費不払い解消に向けた検討会議を開催

2 養育費の取決め

全国初

参考書式の配布
父母間の話し合いの参考に

養育費・面会交流などの取決めに関する合意書や手引きを、相談時や離婚届の配布時にあわせて配布。



公費による助成も

公正証書作成費用や調停申立費用の全額を助成。

市での養育費の
取決め率は7割に! (全国は約6割)

全国に広がる

明石市の書式を参考にして、法務省がパンフレットを作成(2016年)。全国の自治体にも配布。

3 差押え支援

全国初

※2022年実施予定

子どもの養育費の確保には、裁判所における差押手続のサポートも必要となります。

次の手続の支援(相談・費用補助)を行います

①財産開示・情報取得 ②債権執行

子どもの「会いたい!」を叶えます

全国初

面会交流 累計約300回実施

「今さら連絡をとりにくい」「自分たちだけでは不安」といった悩みのある人を、経験豊富なスタッフがサポート。相手との日程調整や当日の立ち会いのほか、交流場所の提供もしています。

【利用者の声】

相手には会わず子どもと面会できる。精神的な負担が軽くなりました。



無料で天文科学館へ

親子交流
サポート事業

子どもの暮らしと気持ちのために

給付型奨学金と継続的な学習・生活支援

こども夢応援プロジェクト

子どもたちが家庭環境や経済的な理由などで高校への進学をあきらめることがないように、奨学金(返済不要)の給付や、学習・学校生活のサポートをしています。

高校進学へ
さらに進学してからも
支援は続きます

高校受験に向けた **学習支援**

入試の約半年前から週2回の学習支援を行います。進路、生活面の相談も

入学準備金 **30万円** (上限)

入学金、制服代、教科書代など入学時に係る費用の負担を軽減

入学後の3年間も!

在学時支援金 **毎月1万円**

クラブ活動費、学用品費、通学費など(原則3年間)

入学前から
学習支援
生活面の相談



中学3年生



高校生

継続的にサポート

学校生活支援

相談役(チューター)を配置し、生活面での継続支援を行います。

これまで2年間で、約**300人**が高校に進学! 夢を叶えるために頑張っています。

全国初

児童扶養手当を毎月支給

ひとり親家庭に支給される児童扶養手当を毎月支給しています。分割支給で収入の波を平準化することで、子どもと親が安定した生活を送れるよう支援しています。

●他市(国の制度)では… (イメージ)

2019年から	0円	8万円	0円	8万円
---------	----	-----	----	-----

●明石市 2017年から

4万円	4万円	4万円	4万円
-----	-----	-----	-----

支給のない月に
無利子で貸し付け



全国初

一人の子どもも見捨てません/ 戸籍がない人への支援

必要な行政サービスにつないだり、戸籍を作るための手続を支援したりするなど、総合的支援を実施しています。



- ・相談窓口、24時間相談ダイヤルを設置
- ・「戸籍がない方のためのサポートパンフレット」の配布
- ・サポートナンバーカードの発行
- ・裁判手続費用の補助

これまで9人の子どもの
戸籍の取得につながっています

教育

子どもたちの
学びを応援

少人数学級

小学1年生
30人以下

中学1年生
35人以下

学校生活の第1歩をしっかりフォローするために、小学1年生、中学1年生で少人数学級を実施しています。



9年間、全学年少人数学級の
小中一貫校を開校

小1～中3の計9年間、全学年30人程度の少人数学級で、一人ひとりに応じたきめ細やかな学びを提供しています。

質の高い学童保育 (放課後児童クラブ)

明石市の放課後児童クラブの支援員の多くが、教員や保育士の有資格者です。

有資格者(教員・保育士)の割合

明石市 **66.0%**

(参考:国 約28%)
2021年5月現在

中核市初

▶認定資格研修を市が実施



こども一人ひとりに本気で寄り添います

子どもへの総合的な支援の拠点 児童相談所 (明石こどもセンター)

自治体として9年ぶり
関西の中核市で
初の開設

こどもの
声を
聞きます

こどもの
味方で
あり続けます

こどもの
思いを
かなえます



全体に目配りできるよう市の中央部に立地

2019年、明石市は中核市として3か所目、関西では初めてとなる児童相談所「明石こどもセンター」を設置しました。身近な子育て相談から支援が必要な子どもの発見、対応、家庭復帰後の地域支援まで総合的で一貫したサポートを行っています。

1 JR 駅前の一等地に開設

利便性の良い市内中央部の
JR 大久保駅前に開設

近隣の反対もなく、
市議会も
全会一致で賛同

全国初 常勤弁護士も複数配置



児相の法的権限を迅速・的確に運用するために不可欠な存在。日々のケースワークに携わるために常勤化しています。

子育て支援センター、こども図書室、里親センターも併設

2 幅広い専門職を配置

職員数は国基準より手厚く

開設時、職員数は国基準の2倍以上

児童福祉司・児童心理司・保健師・
弁護士(常勤)・児童指導員・
医師・教職員・元警察官・看護師・
家庭児童相談員などを配置

一人ひとりの状況に
応じて細かく対応しています。

全国から
職員を募集

量も質も!

3 通学も可能に 全国唯一

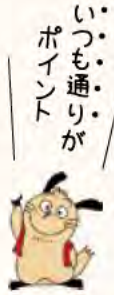
一時保護中も
子どもの思いを大切に



小・中学校への通学も可能に
明石市の一時保護所では、いつもと同じ学校へ行きたいという子どもの思いがあれば、それを大切にします。子どもの学ぶ権利を保障し、できるだけいつも通りの生活が続けられるようにします。

さらに 親や友人との面会を可能に

面会についても、まずは子どもの声を聞き、子どもの思いを尊重して、親や友人と会えるようにしています。



4 明石から 児相改革

毅然と一時保護が行えるように

全国初 2021年開始 こどものための第三者委員会

一時保護の妥当性を審査する第三者委員会(弁護士・元裁判官・専門有識者などで構成)を設置。一時保護の後、すみやかに第三者が必要性をチェックすることで、毅然と保護が行える仕組みを導入しています。

国の動き! → 一時保護に司法審査導入へ

子どもに寄り添うのは“人” 人材育成

全国2か所目
全国の児童虐待対応職員の研修拠点
西日本こども研修センターあかし

全国の子ども虐待防止に関わる関係機関などで主に指導的立場にあたる職員を対象に高度専門的な研修を実施しています。

オンライン研修も

北海道から沖縄まで
全国の職員が対象



コロナ禍では、オンライン研修を展開。今年度は、全国7ブロックに向いて研修を行う予定です。

人材育成は、喫緊の課題です。福岡市児童相談所での所長業務の経験を活かして、最前線で子どもと家族の支援に携わる方々に対し、子どもの権利擁護を基本として専門的な研修を実施しています。

明石で人を育て、ノウハウを全国に広げていきます。



るいばやし たくし
藤林 武史 (西日本こども研修センターあかし センター長)
精神科医師を経て、福岡市児相所長を18年間務める。厚労省社会保障審議会委員として児相改革を推進してきた。明石市在住。

こども食堂 地域の気づきの拠点 あかし版こども食堂

こどもの総合支援に
つながる気づきの場

地域のあらゆる世代が、気軽に集まり交流することで、支援が必要な子どものサインにいち早く気づく重要な役割を担っています。

学習支援も 地域の人との遊びや学習を通じて交流しています。



歩いて行ける!

全小学校区で実施、
だから安心

こども食堂は全 28 小学校区 46 か所に。子どもたちが歩いて行ける小学校区内にあるので通いやすく、地域の人ともすぐ顔見知り。

全国初



2016年 11か所

全28校区 2022年 46か所

栄養と愛情のこもったお弁当を
テイクアウトや宅配も

コロナ禍だからこそ、子どもたちの見守りが大切。こども食堂の活動は形を変えて継続。



1万2千食以上
を提供
(2020年度)

コロナ禍でも
子どもを
食から支える



まちのみんなで

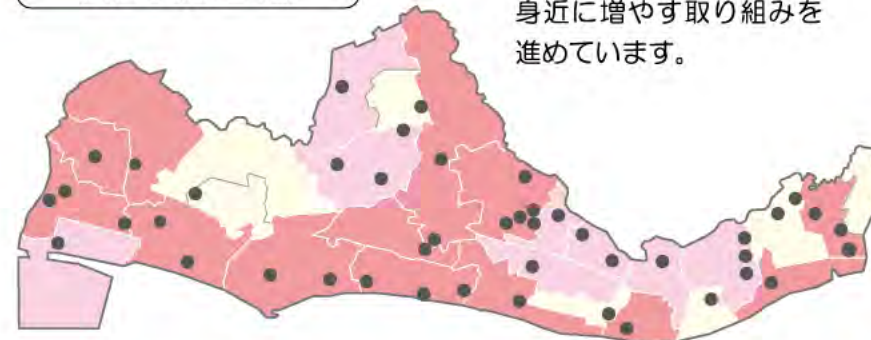
子どもを見守る

あかし 里親100%プロジェクト

すべての子どもに家庭のぬくもりを / あかし里親100%プロジェクト

●こども食堂開設場所
里親登録している家庭数
■2家庭以上 ■1家庭
(2022年4月1日時点)

すべての子どもたちが、家庭での愛情やぬくもりを感じながら育つことができるよう、里親家庭を身近に増やす取り組みを進めています。



広がっています
市内には52家庭の里親さんがいます
(2022年4月1日時点)

5年間で29家庭
増えました



里親 7年目
いつでも帰れる家を
増やしてあげたい

ショートステイ里親への
独自の支援も

3日程度、親元を離れる必要がある子どもを専門に預かるショートステイ里親家庭に、市独自の支援を行っています。

QUOカード
1万円(初回)

子育て用品の
無料レンタル 専門スタッフ
による相談窓口

あかし里親センター

2019年にあかし里親センターを開業。あらゆる相談を受け付けています。



高齢者

住み慣れた地域で安心して暮らす

みんなで 安心 支える 寄り添う 認知症 あんしんプロジェクト

認知症になっても安心して 暮らせるまちづくり

NEW!! 2022年3月/
認知症あんしんまちづくり条例を制定

65歳以上の人

1 早期に
気づく 認知症診断費用を
全額無料に

- ① 認知症チェックシートを提出した人に
・結果と一緒に図書カード **500円分**
- ② 認知症の疑いがある人に
・認知症診断費用の全額助成
- ③ 認知症と診断されたら
・タクシー券 **6000円分**
または居場所検索用端末(GPS)の
基本料金 **1年間無料**



2 支援に
つなぐ 認知症の人には
サポート給付金の支給

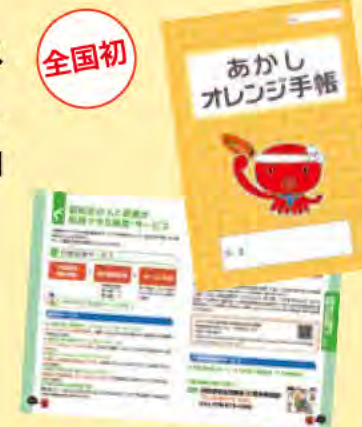
- 要支援・介護の認定者に
在宅介護支援金 **1万円** ※2020年度のみ
- 認知症の診断を受けたら、
認知症サポート給付金 **2万円**



3 継続的に
支援 認知症手帳
(あかしオレンジ手帳)

受診している病院や介護サービスの
利用状況を記録できるほか、
支援サービスの紹介や相談窓口
を掲載した手帳を発行。

認知症サポート
給付金を受給した人
全員に交付



3つの無料券をお届け **全国初**

- ① 宅配弁当券 (20食分)
- ② 寄り添い支援サービス券 (10回分)
(見守り、話し相手、外出時の付き添いなど)
- ③ 1泊2日のショートステイ利用券 (1回分)

「あかしオレンジ手帳」と一緒に3つのサービスを無料で
利用できる券をお届けします。本人がサービスにつながる
だけではなく、家族の負担軽減にもつながっています。

継続的な支援で家族もサポート

地域みんなで 寄り添い支える

オレンジサポーター

認知症を正しく理解し、地域や
職場で応援する「オレンジサ
ポーター」(認知症サポーター)。
より専門的に学ぶ講座も開設し
ています。

認知症かもしれないお客様と接する
機会もあるので、具体的な接し方を
知ることができて良かったです。



企業にも認知症を学ぶ
取り組みが広がっています

第一生命保険㈱明石支社

明石市オリジナルの
サポーター制度も



より専門的に学ぶ シルバーサポーターや、
在宅での生活を支援する ゴールドサポーター 制度もスタート

オレンジリングは
オレンジサポーターの
しるしだよ!



子どもたちにも
支援の輪が広がっています

小学生向けオレンジサポーター養成講座

後見支援センター



多くの市民後見人が
活躍中です

市民後見人の養成や活
動の支援を行うほか、
後見制度利用のための
資金貸付などを行う
後見基金事業なども
行っています。

みんな
で
支
援!

後見基金
2018年に市民からの遺贈をもとに、明石市社会福祉協議会が
創設した、後見制度に特化した基金。市民後見人の活動費や
制度の申し立て支援などに利用されています。

認知症カフェ

認知症の人とその家族、医療・介護の専門
職や地域の人々が参加し、悩みを話したり、
情報交換しながら楽しく過ごす集いの場
です。市内各所で開催しています。



「みんなの給食」全中学校区に

月1回程度開催し、食事のほか口の健康に関する体操
なども行います。運営は地元のボランティア団体など
が有償で行っています。

みんなで
一緒に
食べる
おいしい



みんなに
会うのが
楽しみです

あかねカレッジ

あかねカレッジは、60歳以上の明石市民であれば、
どなたでも入学できる、新しい学びの場です。



健康・スポーツ、歴史・
文化、時事・社会、生き方・
キャリアなどさまざまな
分野の講座を開催

補聴器の購入費用の助成

聴力が低下し、生活に支障が生じている高齢者に
補聴器の購入費用の一部を助成します。

対象/医師が必要と認めた65歳以上の人
(所得制限なし)

助成額/上限2万円

小さい音がよく聞こえるよう
になりました。助成があって
助かりました。(96歳)



運転免許返して安心プロジェクト

高齢者の自主的な免許返納を応援し、交通事故の
未然防止に取り組んでいます。

対象/本年度中に運転免許を返納した65歳以上の市民

返納した人に **ICOCA3000円分**
(デビット500円含む) **NEW**
または
図書カード3000円分

勤めた人にも! 図書カード1000円分



すでに**6600人**(※)が申請!
※2016年からの合計

明石の好循環

いじめ

高齢者

障害者

犯罪被害者

優生保護

豊かで安全な海

本のみち

明石の好循環

いじめ

高齢者

障害者

更生支援

LGBT+/SOGIE

豊かで安全な海

感染症対策

すべての人に“やさしい”まちづくり

障害者

障害のある人もない人も、安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、商業者や地域の団体と一緒に取り組みを進めています。

条例1 「手話言語・障害者コミュニケーション条例」制定 2015年4月施行 全国初

手話言語のみに特化せず、点字や音訳など障害のある人とない人の幅広いコミュニケーション手段の促進について定めた条例を全国で初めて制定しました。

手話 要約筆記 点字 音訳

手話



市立小学校の4年生を対象に、耳の聞こえない人の生活や手話を学ぶ「手話体験教室」を実施しています

自治体で全国初

手話フォンを設置 (あかし市民広場)



明石の駅前ビル内に自治体で初めて手話フォンが設置されました

事業者向け研修

バス会社やタクシー会社など事業者も、必要な配慮を学ぶ研修を実施しています。



柱となる4つの条例ができました

条例の5つのポイント

- 1 対象 ▶ 必要としているすべての人に
- 2 視点 ▶ その人が
- 3 内容 ▶ 必要としている支援を
- 4 場 ▶ その地域で
- 5 責任 ▶ 行政の責任において

幅広いコミュニケーションを支援



点字

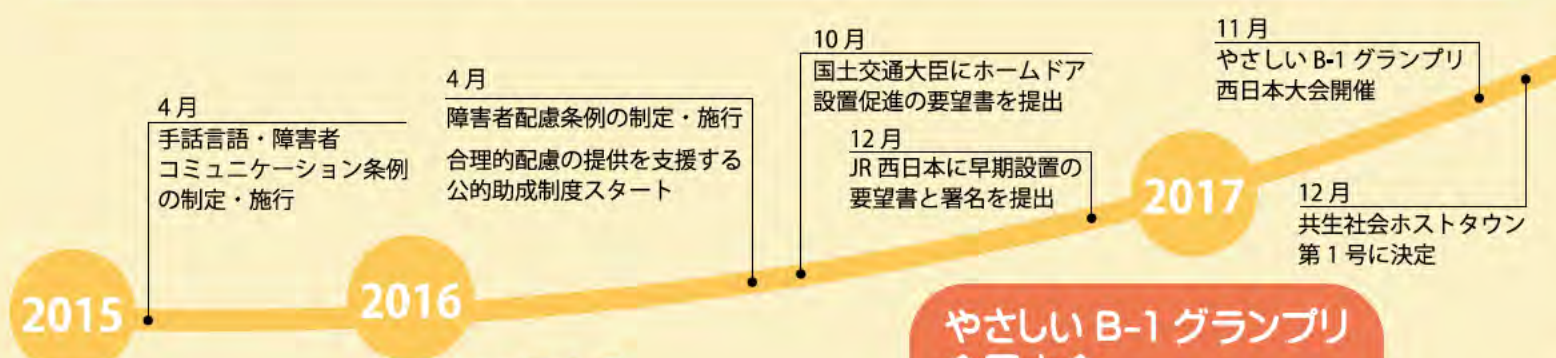


点字メニューを置いているお店も増えてきました



段差はありません

誰もが暮らしやすいまちに進化中



JR明石駅ホームドアの設置

誰もが安全に安心して公共交通を利用できるように市民の皆さんとまちを挙げてホームドアの設置に取り組んできました。



明石駅で行った署名活動

2020年2月 まち一丸で取り組み実現!!



ホームドアが設置された明石駅

やさしいB-1グランプリ全国大会



障害のある人がホスト役で来場者をおもてなし

総合福祉センター新館オープン

ユニバーサルスポーツが体験できるほか、障害のある人が働く食堂も。



障害のある人もない人も一緒に楽しめます

条例2 障害者配慮条例 2016年4月施行 全国初

合理的配慮の提供を支援する公的助成制度スタート

商業者や地域の団体が障害のある人に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用を助成しています。



点字メニューがあります

対象/商業者や地域の団体など

助成内容/

- ①点字メニュー・コミュニケーションボードなどの作成 (上限5万円)
- ②折りたたみ式スロープ・筆談ボードなどの購入 (上限10万円)
- ③手すり設置・段差解消などの工事 (上限20万円)

お店にステッカー貼っています!

手すりがあります

2月 手話フォンを設置

2018

あかし案内所

誰もが利用しやすい「みんなのトイレ」や、授乳やおむつ交換ができる「子育てサポート室」などを備えたあかし案内所が2020年3月にオープン。

あかしユニバーサル歯科診療所



障害のある人や有病高齢者などが利用しやすく、休日の応急処置も行う「あかしユニバーサル歯科診療所」を市民病院敷地内に開設しました。

あかし手話チャンネル開設

市政情報を手話で紹介。月2回、広報あかしの内容を配信しています。



ろう者である職員が手話で情報発信



手話チャンネルはこちらから

400を超えるお店や施設に設置しています!

外国人や障害のある人にも利用しやすい店づくりをしています



筆談ボードがあります

2021年12月 旧優生保護法被害者支援条例制定 2022年4月 あかしインクルーシブ条例制定

スロープがあります

2月 JR明石駅ホームドアの供用開始

11月 やさしいB-1グランプリ for SDGs 開催

2020



インクルーシブ (誰一人として取り残さない)

条例3 旧優生保護法被害者支援条例 2021年12月施行 全国初 p16へ

旧優生保護法のもと優生手術や人工妊娠中絶を受けた人だけでなく、その配偶者も対象とした独自の支援制度を設けました。

いつまでも みんなで すべての人に やさしいまち

条例4 あかしインクルーシブ条例 2022年4月施行 全国初

年齢・性別・障害・国籍などに関わらず、すべての人が安心して暮らせるインクルーシブなまちづくりを実現するために、今後の指針となる条例を制定しました。

NEW!! 補助制度を創設 ホテルや商店街などのバリアフリー化に向けた費用を補助

明石の好循環

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

優生保護

豊かで安全な海

本のみち

明石の好循環

こども

高齢者

障害者

更生支援

LGBTQ+/SOGIE

豊かで安全な海

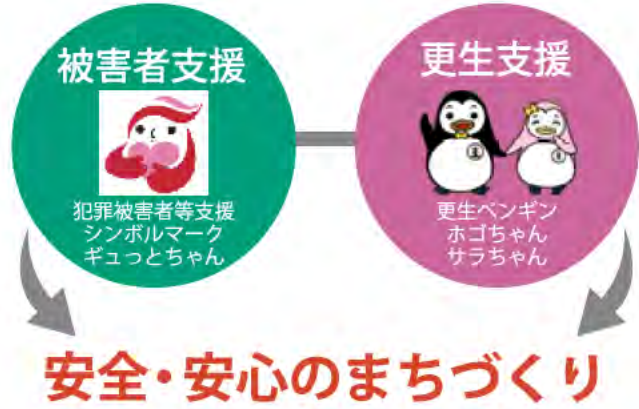
感染症対策

すべての人に“やさしい”まちづくり

安心して暮らせるまちを みんなの手で

誰一人置き去りにせず支え合う

被害者支援と更生支援は車の両輪



市は被害に遭った人や家族に寄り添う被害者支援に取り組んでいます。また、罪を犯してしまった人が再犯をしないためのサポートにも力を入れています。この2つは、密接な関係にあります。被害者を生まないまちにするためには、加害者を作らないことが一番。地域全体で支えることが、より安心・安全なまちを築いていくことにつながります。



犯罪被害者やその家族に寄り添ったきめ細やかな支援を進めています。当事者の声を何度も聞きながら、条例や支援に反映させてきました。

犯罪被害者等支援

被害者の声に寄り添い条例に反映

2011年4月
「犯罪被害者等の支援に関する条例」を施行
→相談窓口の設置、支援金・家賃補助など

2014年4月
条例を改正
→立替支援金制度を全国で初めて導入

2018年4月
条例を再度改正
→**拡大** 立替支援金の対象者
→**拡充** 再提訴等費用の補助や真相究明に要する費用の補助

2020年4月
3度目の条例改正
→特例給付金制度を全国で初めて導入

→**拡大** 遺族・重傷病支援金の増額
→**拡充** 住居復旧・防犯対策費の補助
「あかし被害者基金条例」を施行

被害者の声

被害者の声

被害者の声

心神喪失や少年犯罪など立替支援金を受け取れない事件の被害者も対象にしてほしい

被害者の声を何度も聞きながら支援を検討してきました

万が一、私のように辛い思いをした人がいた時に、明石のこの条例が少しでも救いになればと思います。



菅我部 とし子さん

明石市の制度は、被害に遭った人だけではなく、現在平穏に暮らしているみんなのための制度です。弱者にもやさしいまちづくりが進むことを期待しています。

土師 守さん

あなたに寄り添い、幅広い支援をします！



みんなで支えるよ。



認知症の高齢者などが、社会からの孤立や、経済的な苦しさにより、万引きなどの再犯を繰り返すことが全国的な問題となっています。



万引きを繰り返す

2019年4月
明石市更生支援等条例を施行

全国初
早期に適切な支援につなぎ
社会復帰を支えます！

37の団体に連携し、支援のあり方を協議しています。

- 警察署
- 検察庁
- 保護観察所
- 地域
- 刑務所
- 医師会
- 福祉施設
- 事業者

罪に問われた人などの立ち直りを周囲の人たちと一緒に支えています。

Message

明石市の取り組みに期待しています

むらき あつこ
村木 厚子さん(津田塾大学客員教授)

「更生支援」というと、特別なことをするイメージがあるかもしれませんが。実際は、支援が必要な人に必要な支援をする、行政として「当たり前」のことはするだけなのです。これがすごく大切。そして、もう一つ大切なのは、地域とのつながり。刑務所を出た人が必要なものは、「安心できる居場所」と「出番」です。

明石市では、地域による「早期・総合的・継続的」支援の一つの理念として掲げた条例を全国で初めて作られました。これを機に、明石市のやさしいまちづくりが進み、より安心して暮らせるまちへと発展することを期待しています。

(2019年あかし更生支援フォーラムより)

更生支援

更生支援の取り組みは、地域が現場です。地域の実情を知っている基礎自治体だからこそ、早期に、総合的に、継続的に支援を行うことができます。罪を犯してしまった人が、立ち直り、地域で孤立することなく日常生活がおくれるよう、「おかえりなさい」と迎えられるまちをみんなでつくっていきます。



あかし更生支援フェアを開催

更生支援への理解を深めてもらうため、「あかし更生支援フェア」を開催し、市民への啓発も。



ジャーナリストの江川 紹子さんを迎えて開催(2017年)

「すべての市民のため」の施策です

全国初
ポイント1
立替支援金制度を導入

被害者や遺族への損害賠償金が支払われない場合、市が賠償金を立て替え、当事者に代わって加害者に賠償請求します。

全国初
ポイント2
再提訴等費用の補助

裁判所に支払う費用（印紙代・郵券代）を市が補助します。

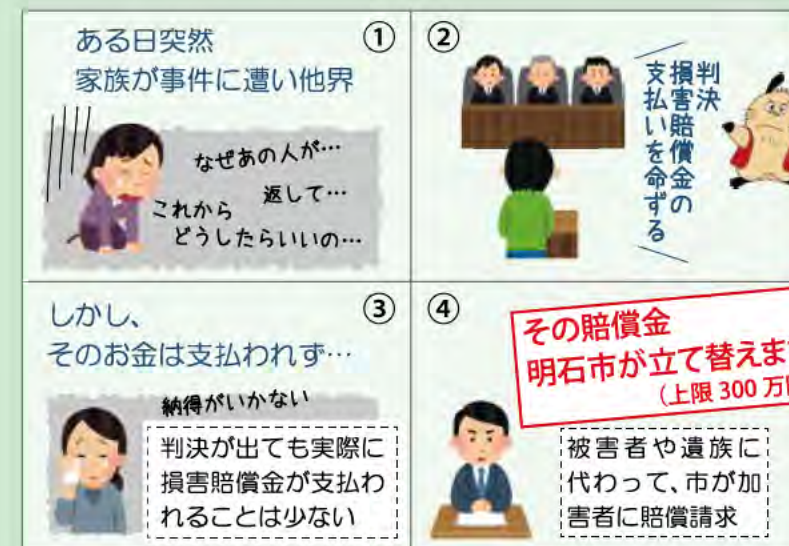
真相究明に要する費用の補助も
情報提供を求めるために必要なチラシなどの作成費用を補助します。

全国初
ポイント3
特例給付金制度を導入

心神喪失などで加害者が刑事責任を問われなかった場合、被害者の遺族に給付金を支給します。

ポイント4
あかし被害者基金を設置

市民や企業など幅広い層から寄付を受け付けています。



優生保護

明石市は被害者を見捨てない

障害のある人もない人も、
誰一人取り残さない
まちづくりの象徴に

市はこれまで、障害のある人に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用の助成や、犯罪に遭われた方への支援を積極的に進めるとともに、SDGs 未来都市の実現に向けて取り組んできました。
この旧優生保護法被害者支援条例は、これら3つの要素が重なり合う象徴的な条例となっています。



2021年12月 旧優生保護法被害者支援条例を施行 (全国初)

条例のポイント

- 1 優生思想を許さないまちづくり**
障害者の尊厳を傷つける事態を二度と繰り返すことのないように、優生思想を許さないまちづくりを推進します。
- 2 支援金を支給**
子どもを産み育てる権利を奪われた苦しみに加えて、長く差別や偏見に苦しんできた被害者に対し、**支援金(300万円)**を支給します。
- 3 配偶者も対象**
支援金は、旧優生保護法の規定に基づく優生手術や人工妊娠中絶を受けた人だけでなく、その配偶者も対象としています。



条例の解説も



条例制定を喜ぶ小林夫妻 (旧優生保護法による被害者)

		一時金支給法	旧優生保護法被害者支援条例
優生手術	本人	○	○
	配偶者	×	○
人工妊娠中絶	本人	×	○
	配偶者	×	○
申請期間		5年	無期限
金額		320万円	300万円

明石市

条例案に多くの意見が寄せられました

強制中絶という行為が本人だけでなく配偶者にも影響することは当たり前。その配偶者も支援の対象としている点は、今の社会の人権意識にも、これからの人権意識の発展にも耐えうる内容だと思ふ。

優生思想と向き合うという事は、障害のあるなしに関わらず、誰もが安心して働き、お互いが支え合い、助け合って生きていく社会を目指すこと。これは、明石市が掲げるインクルーシブ社会の実現だと思ふ。



誰一人として取り残さないインクルーシブなまちづくり

すべての人に“やさしい”まちづくり

LGBTQ+ / SOGIE

すべての人にやさしいまちづくりを進める明石市。子どもや高齢者、障害者はもちろん、見えづらい存在と言われる性的マイノリティの人たちも、みんなが笑顔でいられる暮らしやすいまちを目指しています。

全国初 LGBTQ+ 施策担当を採用 (全国公募)

性的少数者 (LGBTQ+) の支援を担当する専門職員を採用。パートナーシップ制度の導入や専門相談などの支援に取り組んでいます。



LGBTQ+/SOGIE 施策担当 たかはし あきら

ありのままがあたりまえのまちを目指して

2020年4月入庁。2018年から市内で支援グループを立ち上げ、活動を行う。



LGBTQ+/SOGIE 施策担当 ますはら ひろこ

悩みを抱える本人のほか、家族や事業者からの相談も受け付けています

2020年4月入庁。「誰一人取り残さない社会」を目指して幅広く活動。LGBTQ+研修・講演の実績多数。

全国初 | 子どもを含めた関係性を証明 / パートナーシップ・ファミリーシップ制度

性的少数者のカップルだけでなく、一緒に暮らす子どもを含めた家族の関係性を届け出たことを明石市が証明します。



多様な家族の思いに応えます

- 選べる自由を届出書式にも
 - パートナーシップ届
 - ファミリーシップ届
 - 家族届 ● 結婚届
 - 事実婚届
 - ○○○届 (自由記載)
- 証明書を発行します

届け出をした人には、証明書を発行します。パートナーそれぞれの氏名に加えて、子どもの氏名も記載します。

あたりの生活を明石で

- 市営住宅の入居 ※子どもも含めて入居可能
- 住民票の続柄の記載を「同居人」から「縁故者」に変更可能
- 医療機関でパートナーを家族として対応
- もしものときの支えも 市営墓地の使用・承継
- 犯罪被害者等遺族支援金や特例給付金等の給付

明石から全国へ ファミリーシップ制度 全国に広がる

LGBTQ+などのカップルを、生活を共にするパートナーとして自治体が認定する「パートナーシップ制度」が、全国209自治体に広がっています。さらに、一緒に暮らす子どもを含めた家族の関係性を証明する「ファミリーシップ制度」は明石市から始まり、全国で30を超える自治体に導入されています。

ファミリーシップ導入自治体

- 明石市 (兵庫県) (全国初)
 - 徳島市 (徳島県)
 - 古賀市 (福岡県)
 - 入間市 (埼玉県)
 - 総社市 (岡山県) など...
 - 足立区 (東京都)
 - 豊田市 (愛知県)
 - 三好市 (徳島県)
- 30を超える自治体に広がる!
- その他の自治体でも導入が検討されています。



@akashi_nijiuro

豊かで安全な海を

人にも自然にも
やさしいまちへ

海の豊かさを守ろう



2022年
11月12日(土)・13日(日)開催決定!

第41回 全国豊かな海づくり大会



豊かな海に触れる
地引網体験



子どもたちによる
稚魚の放流



豊かな海づくり大会 とは?

同大会は、天皇后両陛下のご臨席が恒例の国民的行事の一つとして、水産資源の保護や海の環境保全に対する意識向上を目的に、昭和56年から都道府県ごとに開催されています。兵庫県では、全国初となる2回目の開催となり、開催地として明石が選ばれました。



【開催場所】

明石駅
市役所
市民会館
式典行事を実施
ペランダ護岸で
稚魚を放流

環境を守り育て未来につなげる 地球と自然にもやさしいまちへ



県内初 環境問題に本気で取り組む 気候非常事態を宣言

近年、市内でも集中豪雨や台風により被害が発生していることを受けて、気候非常事態を宣言しました。(2020年3月)

土砂崩れ

大型台風



全国初 アカミミガメの 防除対策

生態系に悪影響を及ぼす外来種のアカミミガメの防除調査や引き取りを行っています。



あかし動物センター

人と動物がともに生きることができるよう、取り組みを進めています。



ペットは最期まで
飼うことが大切です

土曜日
も開いています
関西初

懲役刑を含む

みんなが安全に安心して海を楽しむように 明石市水上バイク条例

※全国初

明石市水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例

※市町村条例で懲役刑を規定

水上バイクの危険行為を禁止し、罰則を盛り込んだ条例を2022年3月に制定しました。販売店やマリナーなど民間事業者と一緒に、官民連携でこれらの取り組みを進めています。

“遊泳者安全区域”の設置
期間を定めて遊泳者安全区域を設置します。区域内は水上オートバイ等の乗り入れは禁止します。

危険行為の禁止及び罰則規定
懲役刑を盛り込みました
遊泳者安全区域への**乗り入れ** + 遊泳者安全区域での**危険行為**
※遊泳者の近くで危険を生じさせるおそれのある速力での航行や急回転、シグザグ航行など
→ **6か月以下の懲役**
または **50万円以下の罰金**

二重ブイを設置

遊泳者安全区域
泳ぐときは、ブイの内側で

監視カメラを設置

この安全区域は、市内4か所に設置しています
大蔵海岸、林崎・松江海岸、藤江海岸、江井島海岸

安全を見守る
市内**13か所**に監視カメラを設置

条例ができるまで

2021年7・8月	市内海岸で水上バイクの危険行為が度々目撃される → 刑事告発 (殺人未遂・県条例違反) → パトロール実施 監視カメラ設置
9月13日	明石市主催の官民連絡会議 (第1回)
9月15日	死亡事故発生 (淡路市岩屋)
9月16日	国と県に要望書提出 (法整備・対策強化)
12月23日	官民連絡会議 (第2回) ※検察庁、海上保安庁、警察と協議を重ねてきました
2022年3月	条例施行

明石の海で危険行為をすると 法律では… ※2022年5月現在

車両(陸)には、道路交通法がありますが、水上バイク(海上)の法律は不十分で現状に合っていない。

	水上オートバイ (船舶職員及び小型船舶操縦者法)	車両 (道路交通法)
無免許	罰金 (30万円以下)	懲役・罰金
酒酔い	禁止しているが罰則なし	懲役・罰金
速度制限	規制なし	懲役・罰金
危険行為	禁止しているが罰則なし	懲役・罰金

適用するとすれば、**刑法の**

殺人未遂罪
最低でも
懲役5年
(ただし減刑の可能性あり)

いつでも・どこでも・だれでも

本をより身近に感じられる「本のまち明石」への取り組みを進めています。

手を伸ばせば本に届くまち

明石駅 徒歩2分
あかし市民図書館

2017年に明石駅前の一等地に移設・拡充

旧市立図書館と比較すると



まちなかで

本との出会い広がる

公共施設のほかに、金融機関や商業施設、個人で設置されている図書館があり、本との出会いがまちなかに広がっています。



2022年4月
金融機関内にも開設



赤ちゃんのときから本と仲良し



健診受診時に、絵本と読み聞かせ体験をプレゼント。読み聞かせを通して、親子でゆっくりあう時間を作っています。

ブックスタート 4か月 絵本2冊プレゼント

ブックセカンド 県内初 3歳6か月 絵本1冊プレゼント

読書バリアフリー環境の充実

- (仮称) 読書バリアフリー条例の検討
- 図書館、小・中学校に読書バリアフリー機器を整備
- 図書館への来館が困難な人への図書宅配サービス
- 図書館での対面朗読サービス

家で過ごす親子にお届け / 絵本の宅配便

新型コロナで休館している間、家で過ごす時間が増えた子どもたちに、図書館スタッフが750件のべ3742冊の絵本をお届けしました。

丁寧に包まれた本を見て 職員の温かいお心を感じました

たくさんのおメッセージをいただきました

だいに読みます ありがとう

ライブラリーオブ サイヤー
Library of the Year 2021 優秀賞



官民協働で子育て支援拠点とする図書館の取り組みが評価されました。

移動図書館車が 市内81か所にお届け 2台体制 県内初

小型車と大型車の2台体制で市内の隅々まで本をお届けしています。

病院や高齢者施設・保育所にも本をお届け



「明石たこ大使」さかなクンの描いた絵が目印に

新型コロナウイルス感染症対策

市民の暮らしを全力で支える

市が運営する保健所で迅速に対応しています



最前線で市民の命と安全を守る あかし保健所

2018年4月に中核市に移行し、市独自であかし保健所を設置。相談の受け付けから検査や入院調整、健康観察や生活支援など感染症対策の業務を包括的にを行っています。

相談体制

お困りごとに 応じて対応

専門相談窓口を複数設置。専門の職員が必要な支援に繋がっています。



検査体制

検査数と体制の拡充

市民と市が直接連絡を取り合い、PCR検査までスピーディに。

検査の処理を効率化、安定した検査体制に



官民連携

市民との 協力体制を強化

明石市ウィズコロナ官民連携会議の開催。



- 1 個人商店に 2020年度 のべ585件 家賃上限100万円を緊急支援
- 2 感染対策助成金 2020年度 飲食店に5万円、商店街に50・100万円
- 3 学費の緊急支援 2020年度 のべ122件 上限100万円
- 4 こどもの養育費緊急支援 2020年度 不払い分を立て替え
- 5 給付型奨学金 2020年度~ 対象拡大200人に
- 6 ひとり親家庭に 2020年度 2回給付 児童扶養手当(5万円)を上乗せ支給
- 7 子育て世帯に 2020年度 約2万2300世帯に給付 児童手当(1万円)を上乗せ支給
- 8 未就学児に 2020年度 3742冊を配達(申込件数750件) 絵本の宅配便
- 9 テイクアウト・デリバリー ども食堂
- 10 赤ちゃん応援給付金 2020年度 新生児1人につき10万円を支給
- 11 生理用品サポート事業 相談・無料配付

- 12 生活困窮者に 2020年度 特別定額給付金を先行支給
- 13 市税の納付期限の延長 2020年度 市・県民税、固定資産税、軽自動車税など
- 14 水道基本料金 2020年度 6か月分を無料に
- 15 認知症 サポート給付金・在宅介護支援金 2020年度 最大3万円を支給
- 16 高齢者・障害者サポート利用券 2020年度 1万円分を交付
- 17 サポート利用券 2020年度 2021年度 5千円分を交付
- 18 3割おトク商品券 2020年度 商店街などで利用できる商品券を発行
- 19 あかし支え合い基金 寄附を募集しています
- 20 コロナ条例を制定 2021年度 生活支援や差別禁止も

2021年4月~ 継続・拡充 / さんもくせいプロジェクト 生理用品サポート事業



コロナ禍で顕在化した生理の貧困への支援として、生理用品を無料で配付しています。また、その際にさまざまなお困りごとの相談をお聞きしています。



2022年度から 全市立小・中・高・ 養護学校に設置

明石市独自の20の支援策

新型コロナウイルス感染症

明石の好循環

1こども

高齢者

障害者

更生支援

LGBTQ+/SOGIE

豊かで安全な海

感染症対策

明石市が目指すまちづくり

対談 市長×パパたこ

明石のまちづくりについて、市長の熱い思いをパパたこがインタビューします。



動画で解説しています



Q 人口が増えて、明石のまちが賑わってきたのはなぜ？

こども施策に力を入れると、経済も良くなる



子育て施策など、市民に寄り添うまちづくりによって、**まちの好循環**が続いているからです。



① これまで、こどもの医療費をはじめとした市独自の5つの無料化施策（すべて所得制限なし、サービスを無償で提供）のほか、市民に寄り添うまちづくりを次々と実施してきました。

② これらの施策が広がることで人々に安心感が生まれ、

③ 選ばれるまちとして周辺エリアから子育て世代や働き盛りの人が流入。生まれる赤ちゃんも増え、9年連続で人口が増加しています。



④ その人口がどんどんまちに出て、地域経済を支えている結果、

民間需要も高まりまちが賑わい、⑤ 地価の上昇や税収の増加にもつながっています。

①' その財源を基に、高齢者や障害者に対する新たなサービスの提供など、さらに充実したまちづくりを行なうことができます。

②' その結果、91.2%の市民が住みやすいと感じ、生活満足度調査では関西1位に輝くなど、今住んでいる市民が住み続けたいと思える、さらなる安心感が生まれています。

このいわゆる「まちの好循環」を維持・拡大することで、まちのみんなが幸せに、そして明石のまちが元気になっているのです。

MEMO

まちづくりの大きな柱は2つ、
「こどもを核としたまちづくり」
「すべての人にやさしいまちづくり」



まちの魅力を戦略的にシティセールス

やさしい社会を明石から

Q 「やさしいまちづくり」って？

私もあなたも含めて、人は誰もが、誰かの助けを受け、誰かに支えられながら、生まれ育ち暮らしているのではないのでしょうか。人は、いつ被害者になるかわかりませんし、家族が認知症になるかもしれません。そんなときに「本人や家族だけで頑張れ」ではなく、「困ったときは、お互いさま。大丈夫だよ、みんなで支えるから」と言い合えるような『やさしいまち』を目指しています。

寛容な『やさしいまち』は、様々な危機やリスクにも『つよいまち』だと思っています。



障害のある人もない人もみんな一緒に喜びや感動を共にできるまちづくりを展開中

Q 新型コロナへの対応は？

2018年に中核市に移行した際、保健所を設置し、独自でPCR検査を行い、相談から検査まで1か所で短期間で行える体制を整えました。

生活支援の面では、まず最初に行ったのが、個人商店への2か月分の家賃支援です。商店だけでなく、そこで働く従業員、さらには地域経済を守ることもつながりました。あわせて、生活に困る人へも全員にアンケートを配布し、直接市民の困りごとを聞いて支援につなげてきました。

学生への支援では、コロナの影響で将来の夢をあきらめることがないように、ニーズに合わせ、金額や対象を拡大して学費の支援をしました。

目の前で困っている市民がいるなら、すぐに手を差し伸べるのが行政の役割。国や県の動きを待ってはいけません。市民に近い基礎自治体だからこそできることがあります。より実効性の高い施策をスピード感を持って実現していく、これが今、行政に望まれていることです。

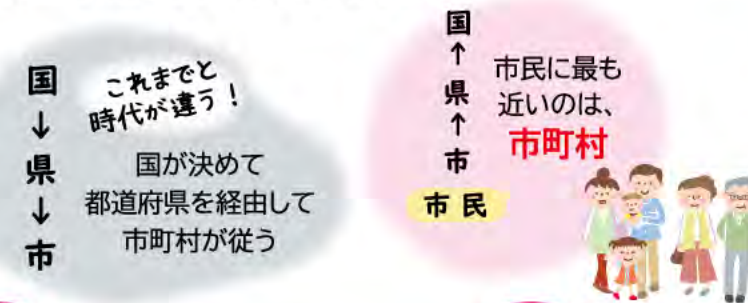


3つの発想の転換

地方こそがリーダーシップを発揮すべき

1 × お上意識 ○ 自治意識

市民が一番近い基礎自治体だからこそ、市民の生活や暮らしの声、苦しみや願いを直接聞くことができます。国を待つことなく、地方から市民ニーズに応えていく必要があります。



先駆性 国を待つことなく
明石からはじめる

普遍性 明石だけでなく
明石から全国に広げる

市民に必要なことは、国を待つことなく、先んじてやっていく。実際、施策の中には、全国の自治体にも広まり、国も明石を参考にして、法整備につながる動きもあります。この「やさしい社会」が全国に広がり、誰もが住みやすいまち、安心して暮らせるまちになるよう、これからも市民と一緒にまちづくりを進めていきます。

となりまちと我がまちは違う

2 × 横並び主義 ○ 地域の特性

国が決めたことを全国一律にする、という発想は今の時代には合いません。新型コロナ対策に関してもそれぞれの地域で状況は違います。我がまちを見ながら責任を果たしていくことが求められています。

昨日までと同じ明日ではない

3 × 前例主義 ○ 新しい発想

これまで通りだから構わない、これまでと一緒にいいという発想ではなく、時代状況に即してスピード感を持って臨機応変にまちづくりに取り組む必要があります。



明石市長 泉房徳

あかし 第6次長期総合計画 2022年 SDGs推進計画始動!

いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで

POINT
1

明石市が目指すまちの姿 × エスディージーズ SDGs



2030年の
あるべきまちの姿

持続可能で、誰一人として取り残さない、やさしいまちづくりを、市・市民・事業者などが一丸となってみんなで取り組んでいます。

持続可能

いつまでも

誰一人として
取り残さない

みんなで

やさしい社会を
明石から

すべての
人に

やさしい
まち

パートナーシップ



先進的な取り組みが国から評価!

県内初 SDGs 未来都市に選定

2020年7月

SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて取り組んでいる都市として、内閣府から「SDGs未来都市」に選ばれました。

まちづくりの方向性

3つの側面に総合的にバランスよく
取り組み相乗効果を生み出します

経済 にぎわいと活力が
持続するまち

社会 すべての人が助け合い
安心して暮らせるまち

環境 人にも自然にも
地球にもやさしいまち



SDGs パートナースと一緒に!



市民団体などと一緒に地域の課題解決や活性化を図るため取り組みを進めています。

POINT
2

明石市が目指すインクルーシブなまち

地域社会での人との関わり -4つのパターン

\\ 大人も / \\ こどもも / \\ 障害のある人もない人も /

1 排除
exclusion

少数者を多数者の
集団から外す考え方



2 分離
segregation

多数者と少数者を
別々にする考え方



3 統合
integration

多数者と少数者が
分かれた状態で
同じ環境にいる



4 共生
inclusion

障害の有無、性別、年齢、
国籍などに関係なく
お互いに支え合いながら
誰もが暮らしやすいまちを
つくること



明石のまちが目指す
インクルーシブ
はこれ